

華人經濟 經營研究

～彼れを知らず己れを知らざれば戦う毎に必ず殆うし～

日本の経営の精神 (2)

中国本土からアジア地域、そして世界にまで活動範囲を拡大するチャイニーズ。彼らのビジネスに対する考え方や習慣は日本人からすると異質にして独特で、理解しづらいものだといわれている。チャイニーズを総合的に「華人」ととらえ、彼らの多様な伝統文化と長い歴史から導き出された経営思想、心理と行動を体系的に分析し、華人圏や中国への進出に伴う総合的なノウハウを学び合う関西日本香港協会のみなさんの研究の成果を紹介する。



【木全千裕（きまたちひろ）さん】日本香港協会全国連合会会长、関西日本香港協会会长。1961年一橋大学経済学部卒、同年住友電気工業（株）入社。経理部を経て、中近東・東南アジアなどで海外電力工事プロジェクトに従事。1990年子会社米国住友電工社長（ニューヨーク駐在）、その後国際事業担当常務取締役。1999年東洋物産（株）社長→会長（2006年テクノアソシエに社名変更）。2000年関西日本香港協会理事、2009年同協会会长。【日本香港協会全国連合会】<http://www.jhs.gr.jp/>

「和魂」に基く經營
和魂は日本文明の根底
をなす地下水脈であり、外
国との交渉を絶つた江戸
時代三百年の間に最も熟
成された。江戸時代の商人
たちの精神を振り返ること
により和魂の内容を伺
うことができる。

くて、事業を通じて社会生活の向上を図る所にあり、「企業は社会的公器である」と言つてゐるが正にこの精神を受け継いでいる。SCRは日本の商人や企業経営者にとつて基本的条件であつた。

を戒めたものが殆どである。諸外国に比べて日本には数百年を超える老舗企業が圧倒的に多いことがこの精神の根強さを物語ついている。野村進著「百年働いてきました」によると、世界最古の企業は四天王寺を建てた大阪の「金剛組」で創業は西暦

され、それぞれが責任を持ち、工夫を凝らしながら仕事をする全員経営乃至はボトムアップの経営が普通である。全ての人が自分の力に応じて創意工夫をしてカイゼンを生み出す可能性を持つている。働く人々にとつて仕事は苦痛ではなく、自ら

う商人道を説いて、商人達を励ました。

日常雜事も修行のように心を込めて行う伝統が今も脈々と生きていると言う。(「日本人に宗教は要らない」ネルケ無方)

これ、節約は軽視されたが、
地球温暖化、資源有限の時代になつて、資源を大事に
使う儉約「もつたいない」
の精神が生き返つた。

和魂は日本文明の根底をなす地下水脈であり、外國との交渉を絶つた江戸時代三百年の間に最も熟成された。江戸時代の商人たちの精神を振り返ることにより和魂の内容を伺うことができる。

自ら利益追求を怠り、社会生活の向上を図る所にある、「企業は社会的公器である」と言つてゐるが、正にこの精神を受け継いでいる。SCRは日本の商人や企業経営者にとって、基本的条件であつた。

一神教信者にとつては、自然環境は征服・支配すべきものであるが、日本人には自然是災害をもたらす恐ろしい存在であると同時に生存に必要なものを与えてくれる恵みでもあり、仲良く共存すべきものである。戦後の高度成長の過程で生じた自然破壊に敏感に反応して、その克服に全力を尽くした日本が、公害対策や環境保護活動の先頭に立つてゐるのは不思議ではない。

財を戒めたものが殆どである。諸外国に比べて日本には数百年を超える老舗企業が圧倒的に多いことがこの精神の根強さを物語つている。野村進著「年働いてきました」によると、世界最古の企業は四天王寺を建てた大阪の「金剛組」で創業は西暦780年、日本には創業五十年以上の会社が10万社以上ある。ヨーロッパでは数十社、韓国には存在せず、中国でも数えるほどしかない。

の現場の第一線で「もじり」され、それぞれが責任を持ち、工夫を凝らしながら仕事をする全員経営乃至はボトムアップの経営が普通である。全ての人が自分の力に応じて創意工夫をしてカイゼンを生み出す可能性を持つている。働く人々にとつて仕事は苦痛ではなく、自らの生きがいを追求する場でもある。これは人を生かし、大切にする経営である。今でも現場・現物・現地を重視する組織は非常に多い。

どこよりも優れた性能や品質の商品を作り、どこよりも優れたサービスを提供し、どこにも負けないコスト力を持つことを目標とした松下幸之助や、田宗一郎は石田梅岩の哲学を受け継いでいる。

(5) 「勤勉」：仕事は修行
江戸時代あらゆる商事が成功の秘訣、最大の徳としているのが勤勉である。戦国末期のある禅僧言う。何百年もの間戦乱続いて人々が苦しむのその心が「貪欲・瞋恚（り）・愚痴（愚かなこと）の三毒に冒されているらだ。これを脱するには中の仏に従つて生き（仏に成る）ことだ。そ為には当然修行に励まばならない。農民は農業に商人は商売に、職人は手事に、南無阿弥陀仏を唱ながら全身全靈をこめ没頭すれば、欲心が去り怒りも去り、愚痴も去り仏になる（成仏する）ことができる、それが即ち修行である。「世俗の仕事は教的修行でありそれを心不乱に行えれば成仏できる」という新しい職業觀

日常雜事も修行のように心を込めて行う伝統が今も脈々と生きていると言ふ。「日本人に宗教は要らぬ。」（都鄙開き）「日本に宗教はない」（ネルケ無方）

れ、節約は軽視されたが、地球温暖化、資源有限の時代になつて、資源を大事に使う儉約「もつたいない」の精神が生き返つた。

和魂は日本文明の根底をなす地下水脈であり、外国との交渉を絶つた江戸時代三百年の間に最も熟成された。江戸時代の商人たちの精神を振り返ることにより和魂の内容を伺うことができる。

くて、事業を通じて社会生活の向上を図る所にあり、「企業は社会的公器である」と言つているが正にこの精神を受け継いでいる。SCRは日本の商人や企業経営者にとつて基本的条件であつた。

一神教信者にとつては自然環境は征服・支配すべきものであるが、日本人には自然是災害をもたらす恐ろしい存在であろう同時に生存に必要なものを与えてくれる恵みでもあり、仲良く共存すべきものである。戦後の高度成長の過程で生じた自然破壊に敏感に反応してその克服に全力を尽くした日本が公害対策や環境保護活動の先頭に立つてゐるのは不思議ではない。

(2) 成長や利益よりも「永続」：長期的思考

船場商人にとつては商業と暖簾は先祖からの預かり物で、それを子や孫につなぐことが最も大事な使命であった。跡取り息子が頼りない場合には娘に出来る男を婿養子に迎える事に躊躇はなかつた。船場商人の家訓は使命感や事業理念の重要さを説き、「いかに儲けつか」ではなく「いかに生き

財したい。それで何を戒めたものが殆どである。諸外国に比べて日本には数百年を超える老舗企業が圧倒的に多いことがこの精神の根強さを物語つている。野村進著「年働いてきました」によると、世界最古の企業は四天王寺を建てた大阪の「金剛組」で創業は西暦78年、日本には創業五十年以上の会社が10万社以上ある。ヨーロッパでは数十社、韓国には存在せず、中国でも数えるほどしかない。

され、それぞれが責任を持ち、工夫を凝らしながら仕事をする全員経営乃至はボトムアップの経営が普通である。全ての人が自分の力に応じて創意工夫をしてカイゼンを生み出す可能性を持つている。働く人々にとつて仕事は苦痛ではなく、自らの生きがいを追求する場でもある。これは人を生かし、大切にする経営である。今でも現場・現物・現地を重視する組織は非常に多い。

どこよりも優れた性能や品質の商品を作り、どこよりも優れたサービスを提供し、どこにも負けないコスト力を持つことを目標とした松下幸之助や田宗一郎は石田梅岩の哲学を受け継いでいる。

日常雜事も修行のように心を込めて行う伝統が今も脈々と生きていると言えり。(「日本人に宗教は要らぬ」ネルケ無方)

(6) 「僕約」：ケチと異なるカイゼン・・・もつたらない

昔から僕約は勤勉との2点セットで金持ちになる基本であると説かれた。井原西鶴が「日本永代藏」の中で船場商人のノウハウとして抽出したのが「始末・才覚・算用」である。船場商人の始末とは、酒食遊興や華美な服装などの贅沢をせず、奢らないというだけでなくもつと積極的な意味があった。始末とは始まりをきちんとし(計畫を立て)、末をきちんとする(算盤にのせる)ということであった。単に私欲のために物惜しみをするのはケチである。石田梅岩によれば「売り渡す商品少しも粗相のないようすればお客様は満足してくれるだろう。その上、僕約に努め、これまで一貫日使つていた費用も七百日で済まして節約し、これを一貫目得ていた利益を九百目で抑えるように努力する。これが商人としての心掛けである。」(都鄙門

れ、節約は軽視されたが、地球温暖化、資源有限の時代になつて、資源を大事に使う儉約「もつたいない」の精神が生き返つた。

(7) 「信用」：誠実

信用がない商人は生き残れない。信用は誠実な商いを積重ねることにより築き上げていくものであり、たつた一度の不誠実な行為で簡単に崩れ去るものである。「信用を重んじ確実を旨とし浮利を追わず」は住友家の最も大切にした精神である。江戸時代に多く作られた家訓には「不実商い（お客様を裏切る商売）など致すまじく候」という箇条が必ずあり、信用は商売の基本であつた。商家が歴代努力して積み上げてきた信用の集積がその商家の「暖簾」であつた。商家にとつて暖簾は先祖からの預かり物でありこれを守り抜いて無事に子孫に伝えていくことは商家の最大の使命であつた。最近度々起きる食品や商品の偽装問題はこの信用が必ずしも良く守られていない証でもあり残念なことである、しかし外国と比べれば日本はまだまだ信用が行き渡つた社会である。(つづく)